

マニラ日本人学校今年度の取り組み

AG 5 研究テーマ

「バイリンガル・バイカルチュラル人材育成のためのプログラム開発と

そのための教員研修のプログラム開発」



本校の今年度の状況

- 5月 → Zoomを利用した、オンライン授業の開始。
 - 7月 → オンライン日本語学級の開始。
- 

マニラ日本人学校の の オンライン授業に ついて

- 教員・児童生徒がそれぞれのGoogleのアカウントを保持
- Googleの各種オンラインサービスを利用



課題の配布・提出



ホワイトボード



プレゼンアプリ



アンケート

マニラ日本人学校の 日本語学級入級者について

日本語学級入級者数(11 / 3現在)

学年	入級者数
1年生	6人
2年生	8人
3年生	12人
4年生	5人
5年生	2人
6年生	0

取り組み

日本語学級での指導
カリキュラムの作成

在籍級における指導実践

1~3年生について

トピックごとの指導案を作成し、指導案に沿って指導を行っている。

- 通常学級よりも先に行う**先行学習**
- 考えを表現するための話型
- 国際結婚家庭の児童ならではの
バイリンガル・バイカルチュラルの視点

4～6年生について

児童の実態に合わせて指導案を考え、指導している。

- 考えを表現するための話型や教科・単元における概念やキーワード(先行学習)
- 国際結婚家庭の児童ならではのバイリンガル・バイカルチュラルの視点

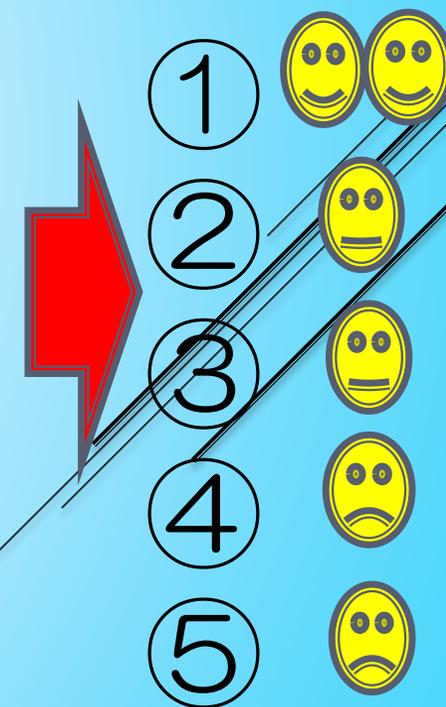
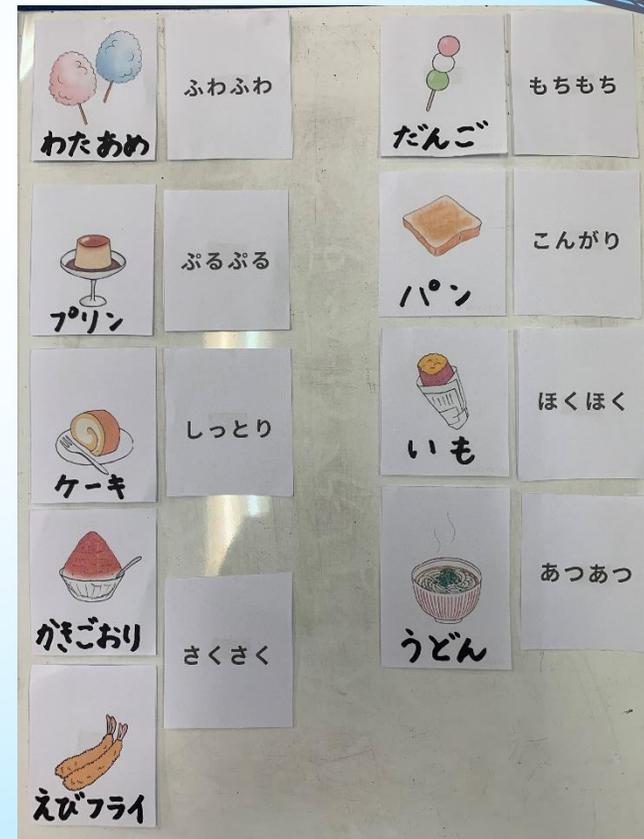
研究部・情報担当の協力のもと、校内授業研究会を実施しました。

1年生の活動例（10月） 日本語学級在籍 6名

10月は「フィリピンとなかよし」（メリンダ）について学習しました。授業の最初は全体で学習したのち、5つのレベルにわかれて、個別指導を行います。

学習の手立てとしては食べ物を説明する言葉について全体で練習しました。

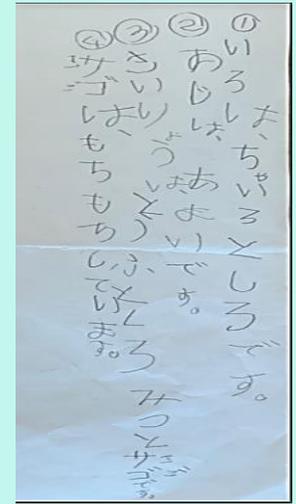
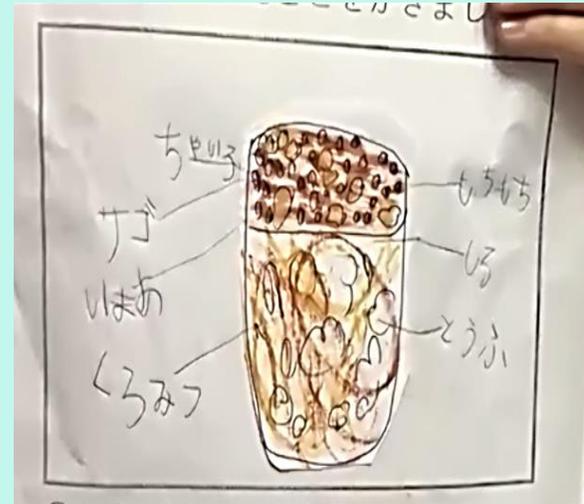
各グループ（5つ）へ



1年生の活動例



絵カードをもとに、文をつくりました。



最後に全体で発表会を行いました。



2年生の活動例

「オンライン 音読劇をやろう」

【トピックのねらい】

- 音読劇をとおして、1つの作品をみんなで作くりあげる達成感を実感する。
- MJSフェスティバルに向けての事前学習をする。

【日本語の目標】

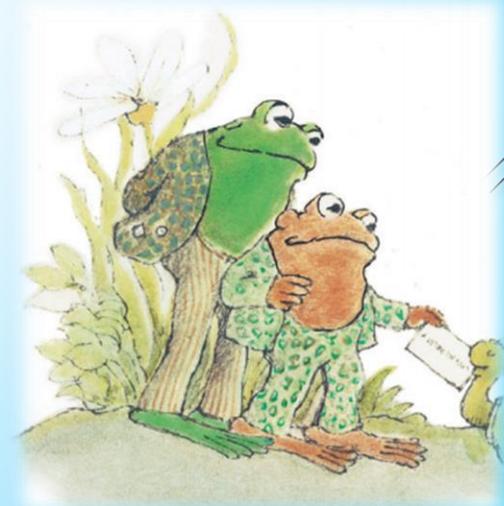
- 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読することができる。
- 登場人物の心情を読み取り、音読劇を通じて表現することができる

【教科・単元・行事】

- 国語科
- 「お手紙」
- 小学部フェスティバル

【主な学習活動（4時間）】

- ①音読劇にむけた学習計画を立てる。
- ②物語の内容の読み取りと役割分担をする。
- ③音読劇の練習と中間発表会をする。
- ④音読劇の発表会（撮影会）をする。



☆成果と課題☆



成果

- 教員が作成した音読劇の見本を見せたり、お家の人にオンライン音読劇を見せるという授業の導入は、こどもたちの「やりたい」という気持ちにつながった。
- ふりかえりの話型をしめしたことで、学習でわかったことと、次の学習のめあてをもつことがき、本時の活動を充実させることができた。
- 4人の教員で、4つのブレイクアウトルームを使って、チームティーチングができた。そのことによって、より細やかな指導をすることができた。
- 本番では、みんなが自信をもって、音読劇を演じることができ、撮影が無事に終わったときは、みんなが大きな達成感を感じていた。

課題

- ジャムボードを使って、挿絵を並び替える学習をしたが、操作に時間がかかってしまい、思ったような活動ができなかった。
- 文章の内容を読み深める時間が少なかった為、簡単なジャスチャーや顔の表情、オリジナルのセリフを想像することが難しかった。それでも、子どもたちは、意欲的に音読劇に取り組むことができた。

3年生の活動例

国語「すがたをかえる大豆（説明文）」の先行学習を行いました。
大豆からできる食品を中心に、**調理方法**や**つなぎ言葉**について学習しました。

活動2 「どうやって へんしんしたのか 調べよう」

へんしんの方法

いる
<https://www.youtube.com/>

にる
<https://www.youtube.com/>

こなにひく
<https://www.youtube.com/>

ゆでる
<https://www.youtube.com/>

むす
<https://www.youtube.com/>

わかして やわらかいうちに

+なっとうきん

動画をみて

イラストを使って

実際に動きをまねて

知っている言葉を手がかりに

ゆでる . . . ゆで卵

「すがたをかえる〇〇」クイズづくり ～フィリピンの食品も取り入れて～

クイズを出そう！

肉まんと同じ方法なら
「むす」だな。



おこめ



むす

スーマン (suman)



にる

におかゆ



こなにひく

ゆでる

しらたま

見たことある！この食べもの！

ゆでる？ にる？

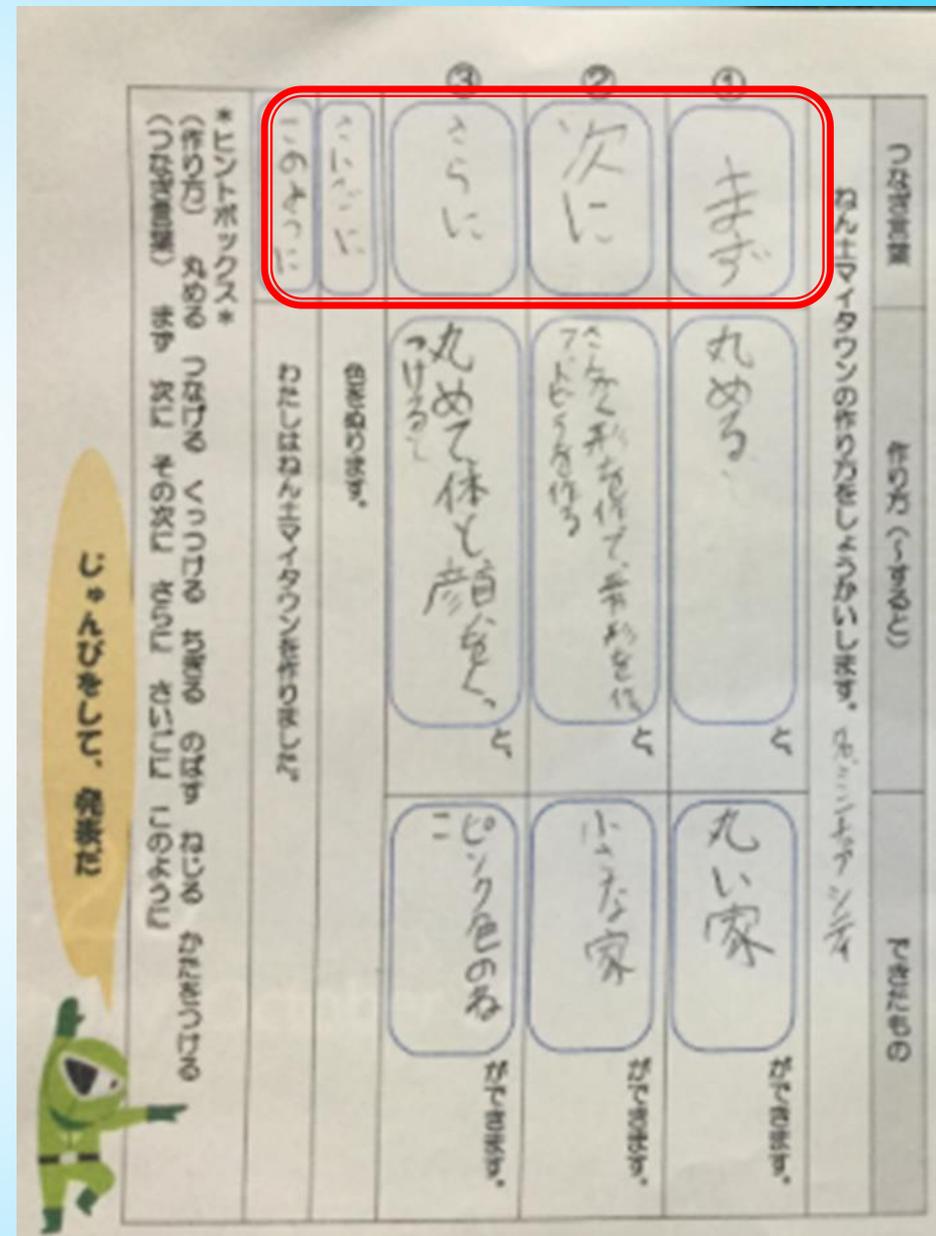
ゆでる

・・・ゆで卵

図工「ねん土マイタウン」との関連 つなぎことばをつかって、作品紹介



他教科（算数・社会）でも
つなぎことばを使う場面が見られた。



4年生の活動例

- オンライン授業と同じようにGoogleClassroomを活用
- 翌週の教科の授業につながるような内容
- イメージと表現をつなぐ

予備知識

既習事項

- ◎ 既習事項の復習・予備知識 → 自信・意欲
- ◎ 児童のルーツに触れる → 興味・関心・探求心
- ◎ 新しいものに触れる → 知識、見方・考え方

写真で俳句

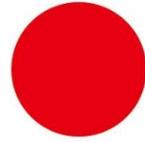
⑨ 写真を見て俳句を作ろう。



回答を入力

文でスケッチ

②主語を無くして、特徴だけを5つ書きましょう。文末は、「です。」「ます。」などを使っていいいにしあげます。



日本三大祭り



各都道府県
の祭り



フィリピンの
祭り



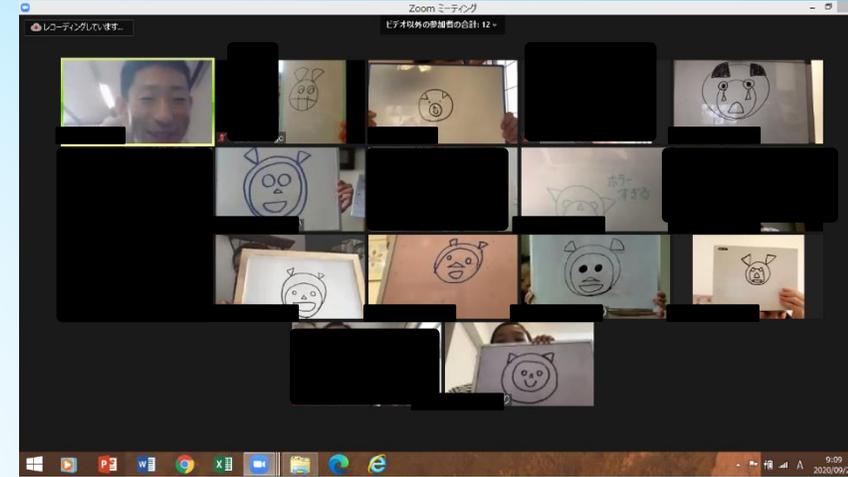
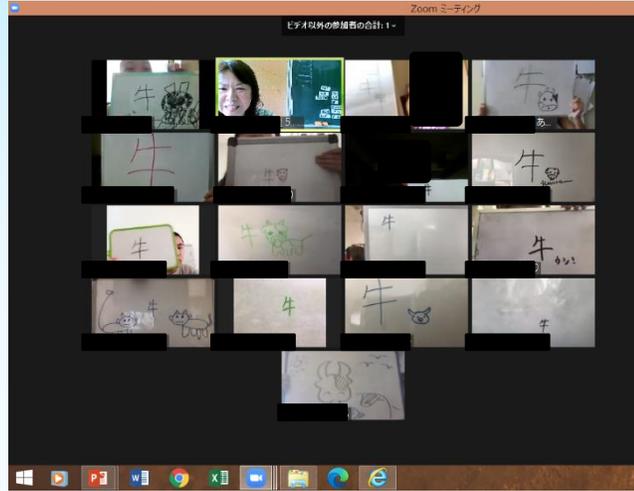
シヌログ祭り (セブ)

- 児童が見つめてきた
- 一緒にサイトで見る
- 情報・意味の確認
- いつ? どこ?
- サントニーニョ?
- マゼラン?
- フィリピンだから?

- 財布やスマホの持ち運び
- 争い事
- ドミノ倒し
- 無差別テロ
- タクシーがつかまりにくい
- 空港の混雑 (情報サイトより)

6年生の活動例

学習の前に、「頭の体操」としてクイズやゲームを行い、話す力、聞く力、書く力、考える力をつけています。



次の言葉を使って文章を作りましょう。

傾向

友達はいつも大げさで傾向だ

↑「友達はいつも大げさに言う傾向がある」

挙げる

授業参観で、手を沢山挙げた

毎日手を挙げる

影響

姉の影響で私も〇〇が好きです！

〇〇秘密です

秘密の〇〇が知りたい！BTS?

不可欠

私はご飯・飲み物がないと不可欠だ！！！！

↑「私にはご飯・飲み物が不可欠だ」

特性

彼女は超能力という特性がある

超能力大変そう

国語では、言葉の意味を理解し、活用する力をつけるために、短文づくりをしています。

「フィリピンの歴史・ふしぎ発見！」

フィリピンと日本の未来のために私たちが出来ること

～What we can do for the future of the Philippines and Japan～

私たちが考えた未来プラン



2,お互いの国のモールなどで遊びを交流する場を設ける。
子供からお年寄りまで参加することができる。

この未来プランが実現したら、子供からお年寄りまで幅広い年齢で交流することができるからさらにお互いが仲良くなれると思う。

交流会で行う日本の遊び

コマ 折り紙 カルタ メンコ 福笑い
けん玉 お手玉 あやとり だるま落
とし 浴衣体験 書道 (簡単なやつ)

ゆかた



交流会で行うフィリピンの遊び

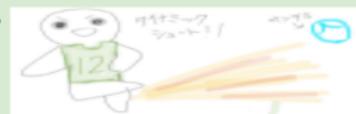
サックレース

「サックレース」はサック（米袋）を使ったゲーム。サックの中に両足を入れて、ジャンプをしながら前に進み、ゴールまでの速さを競う。日本でも、障害物（しょうがいぶつ）競争などで取り入れられています。



トウンパン・プレソ

日本の缶蹴りによく似ている「トウンパン・プレソ」は、缶を蹴るのではなくサンダルを投げる。オニの陣地（じんち）内に缶を置き、陣地の外からサンダルを投げて缶を倒す。缶が倒れたらオニは缶を元の場所に戻し、その間にサンダルを投げた人は自分のサンダルを取りに行くのですが、オニにタッチされたら負けというゲームです。



交流会で行うフィリピンの遊び2

パロ・パラヨ

「パロ・パラヨ」は、日本のスイカ割りに似ている。目隠しをした子どもたちが、スイカの代わりにキャンディーをたくさん詰めた陶器（とうぎ）を割る。陶器が割れたら子どもたちが一斉にキャンディーを拾いに行くという、子どもたちにとって美味しいゲームで、誕生日会やクリスマスイベントなどの特別な日に行われる。

このような遊びを日本人と交流すれば楽しめるのではないかと思います。

左！もっと左！

陶器

もっと前だよ！



5年生の実 践

研究部との連携



研究授業

～バイカルチュラルの視点をもった児童・生徒をはぐくむ授業づくり～

算数「周辺の国々の人口密度」

ICTの活用



Zoomの設定や事後研

- 児童にとってはいつもと変わらない
- オンラインホワイトボードでKJ法を使った事後研の議論

5年生の活動

例

研究授業の大まかな内容

①知っている情報から予想し周辺の国のこみぐあいを比べる



②はっきりと比べるには面積と人口が必要であることを知る



③人口密度を計算してこみぐあいを比べる

理由や根拠を考えられないため、発言できない

面積と人口が「こみぐあい」と関係していると感じることができない

【人口】÷【面積】という公式の使用・定着が難しい

面積と人口が「こみぐあい」と関係していると感じることができない。



日本語学級での指導



「こみぐあい」の概念

人口 **多** → こみぐあい **大**
面積 **大** → こみぐあい **小**

話型

私は、こみぐあいが大きいのは()だと思えます。理由は、~~~~だからです。

通常授業の中での支援

視覚的支援

5年生の活動例

研究授業の大まかな内容

①知っている情報から予想し周辺の国のこみぐあいを比べる

②はっきりと比べるには面積と人口が必要であることを知る

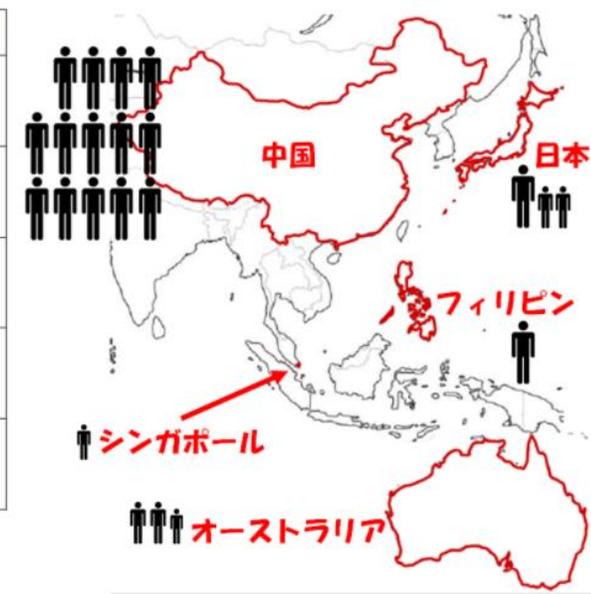
③人口密度を計算してこみぐあいを比べる

理由や根拠を考えられないため、発言できない

面積と人口が「こみぐあい」と関係していると感じることができない

【人口】÷【面積】という公式の使用・定着が難しい

国	ランキング
日本	2
フィリピン	4
中国	1
シンガポール	5
オーストラリア	3



1班
なぎさ
りょう(ふ)
はるか(は)

私は〇〇のこみぐあいは〇〇よりも大きいと思います。なぜなら、〜〜だからです。

人口と面積をもとに人口密度を計算して求めましょう。

国	人口 ω	面積(Km ²)	人口密度
日本	127700000	380000	336
フィリピン	104920000	300000	350
中国	1415980000	9600000	147
シンガポール	5610000	700	8014
オーストラリア	24590000	7690000	3

$$\text{人口密度} = \text{人口(人)} \div \text{面積(Km}^2\text{)}$$

これまでの成果と課題(学校全体として)

成果

- 先行学習を行ったため、在籍級での授業時には意欲的に取り組むことができた。また、発言も多くみられた。
- 話型を用いることで、スムーズに発言することができた。
- 少人数で指導することで、普段の授業では質問できないことや、言いにくい児童の考えを引き出すことができた。
- フィリピンと日本の「未来プラン」を立てていく中で、互いの国の違いやよさを認め合っていこうとする姿が見られた。

課題

- 文章を読み込む時間が足りなかったり、文章を書く時間が足りなかったりする場面が見られた。指導における時間配分には気を付けていきたい。
- 個人で自分の考えをもつための時間が短かったため、グループワークで発言できない児童が見られた。日本語指導でも個人で考える時間を確保したい。
- 在籍級において、児童が発言する場が限られてしまった。児童が自分の言葉で学習を深められるよう、考えを引き出すように発問を工夫したい。

ご清聴ありがとうございました。

